

分野名：高齢者教育

より一層心豊かで充実した人生を送ってもらうため

～まほろば市民大学 専門講座・教養講座～

太宰府市 プラム・カルコア太宰府（中央公民館）【公立公民館】

太宰府市教育委員会 教育部文化学習課 文化学習係長 茂田 和紀

1. 事業名

まほろば市民大学 専門講座・教養講座

2. 事業の目的

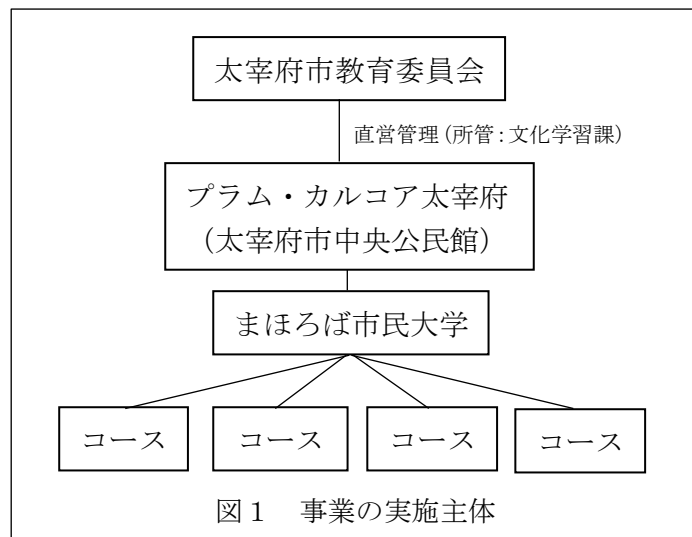
一般市民が老若男女問わずプラム・カルコア太宰府（中央公民館）に集まり、様々な分野についての知識や技能の基礎基本を学んだり、教養を高めるための講話を聴いたりすることを通して、より一層豊かで充実した人生を送ってもらうことで生涯学習社会の実現を目指す。

3. 事業の主体

プラム・カルコア太宰府（太宰府市中央公民館）が行う生涯学習事業として実施している。（図1）

4. 実施に至る経緯

昭和61年の太宰府市中央公民館の開館を機に、中央公民館が行う生涯学習事業「老人大学」としてスタート。その後「高齢者大学」と名称を変え、平成2年から「まほろば市民大学」として実施している。



5. プログラム作成の視点

毎年5月下旬に開講し、期間を翌年1月末までとした年間を通したプログラムを開設している。専門講座のコース選定にあたっては、身体を動かすことや趣味・教養の分野、技術の習得を中心に選定し、年間4回程度の教養講座においては、日々の暮らしや生活に役立つテーマを選定している。なお、専門講座では、単なる「習い事」と区別するため、知識や技能の習得だけでなく可能な限り座学を取り入れ、基礎基本を『理論』から学べるよう工夫している。

6. 事業の内容

(1) 広報活動について

①令和5年4月の市広報誌「だざいふ」に掲載

令和4年11月ごろからコースの選定から講師との交渉、年間スケジュールなどの調整を行い、2月下旬に広報誌原稿を作成、3度の校正を経て3月下旬に広報誌を各自治会へ配送した。

②各自治会（地区公民館）へポスター掲示とチラシ配架を依頼

市広報誌とともに、44自治会（地区公民館）へポスター掲示とチラシの配架を依頼した。

③インターネットの活用（市ホームページ及び公式SNSでの情報発信）

プラム・カルコア太宰府窓口、往復はがきでの申し込みのほか、申込フォームを作成して二次元コードをチラシに掲載、インターネットでの申し込みも可能とした。

④市ホームページ及び公式SNSでの情報発信

ホームページでの情報発信に加え、X（旧Twitter）、Facebook、LINEで情報発信を行った。

(2) 専門講座のテーマ

①実用ペン字 ～美文字への道～（定員20人）

デジタルの時代だからこそ、手書きの良さが見直されています。「今さら」なんてことはありません。美しく書くポイントを分かりやすくお伝えします。

②運動コース ～からだ満天ゼミ～（定員20人）

からだの基本的なしくみや整形外科疾患に関わる内容を座学と実践で学びましょう。運動することによってどのような変化が起こるのか、自分の身体で体感しましょう！

③写真編集コース ～撮影のその先へ～（定員10人）

撮った写真をどうしていますか？この講座では、写真のスキルアップだけでなく、「データ管理」から「補正の方法」まで、撮影のその先を学びます。

(3) 教養講座のテーマ

①歴史：百済^{くだら}ん話

韓国百済と太宰府の繋がりなどを講師の軽快&愉快的な話で楽しく学びましょう！

②雑学：今さら人に聞けない〇〇な話 ～太宰府うんちく～

「ポチ袋」の意味は？太宰府の梅ヶ枝餅を、「か」や「が」ではなく「ヶ」って書くのはなぜ？知ってそうで知らない、太宰府で暮らしていても知らないうんちくを楽しく学びましょう！

③音楽・文学：知れば知るほど楽しい♪音楽講座

～珠玉のドイツ歌曲とピアノ作品を巡って～

ドイツ歌曲を中心に演奏やトークを交えて、作曲家や時代背景などを見て聴いて楽しく学びます。クラシックはよく分からない、音楽になじみがない人も気軽に参加できます。

④人権：落語で学ぼう ～身近な人権～

落語にはさまざまな人が登場します。熊さん（熊五郎）、八つつあん（八五郎）、与太郎・・・面倒見が良くて人情深い、うるさい性格で粗忽者、愛されキャラなどなど・・・落語を通して身近な人権問題に笑いを交えて語ります。

（４）まほろば市民大学の特色

①自治会組織で運営

専門講座ごとに代表者（正・副１名）を決め、『クラス会』のような組織で毎月の講座での出欠などの受付を受講者自身が担うこととしている。

②実践発表会の開催

閉講式と合わせ、年間の学びの成果を受講者みずからが発表する「実践発表会」を開催している。

7. 事業の成果

- プラム・カルコア太宰府（中央公民館）開館から、名称を変えながら継続している事業であり、新たな学びのきっかけづくりに貢献するものである。
- 教養講座では一般参加も受け付け、受講生と合わせて100人を超えることもあり、事業のPRにも繋がっている。
- 受講生みずからグループを立ち上げ、10年以上にわたって継続的な学びとなっている事例もある。

8. 今後の課題

- 年間を通しての講座であるが、「期間が長すぎる」、一方では「もっと継続して学びたい」という意見もあり、開催方法を見直す時期にきているのではないかと。

問合せ先

〒818-0101 太宰府市観世音寺1-3-1

プラム・カルコア太宰府（太宰府市中央公民館）・教育委員会教育部文化学習課

TEL 092-921-2101 FAX 092-285-2631